

要望書

日頃より自治振興事業に多大なお力添えとご協力を賜っております事に感謝申し上げます。

近年早借部落の農業事業は小規模な個人経営から集約型個人経営者への委託や法人化された営農組合へと変化してまいりました。

また、農地及び農業施設においては38.6ha（多面的申請面積）貯水量4.8万トンの期間施設として、昭和30年代後半にため池として整備され現在に至っております。

そして農業施設やため池等については早借部落が管理しており年2回の草刈り、斜樋バルブのグリスアップ等維持管理しているところであります。

しかし、農業施設は老朽化し、維持管理に手をやいているところです。特に長尾池は農業の水源、消火用の水源として重要な施設であります。

この池の漏水が近年目立ち始め、堤体の内側張りブロック等の変形や崩壊が激しく又外側堤体下部には5 m、幅最大2 m、深さ最大約4 mの陥没しております。地区で調査しましたが原因はわかりません。

このまま対策せずに放置しておけば堤体法面が崩壊し決壊の恐れが有るのではと心配しています。

部落としましてはやむなく貯水量を下げて管理しているところです。

この、ため池の下流には早借92戸の民家があり又県道300号線が通っており志賀原発に異常でもあれば避難に使うこともあります。

そこで自治振興委員会としましては、県営事業で行われております、農村地域防災減災事業などの計画に取り上げて頂き、早々の対応をして頂きます様強く要望いたします。

令和2年3月10日

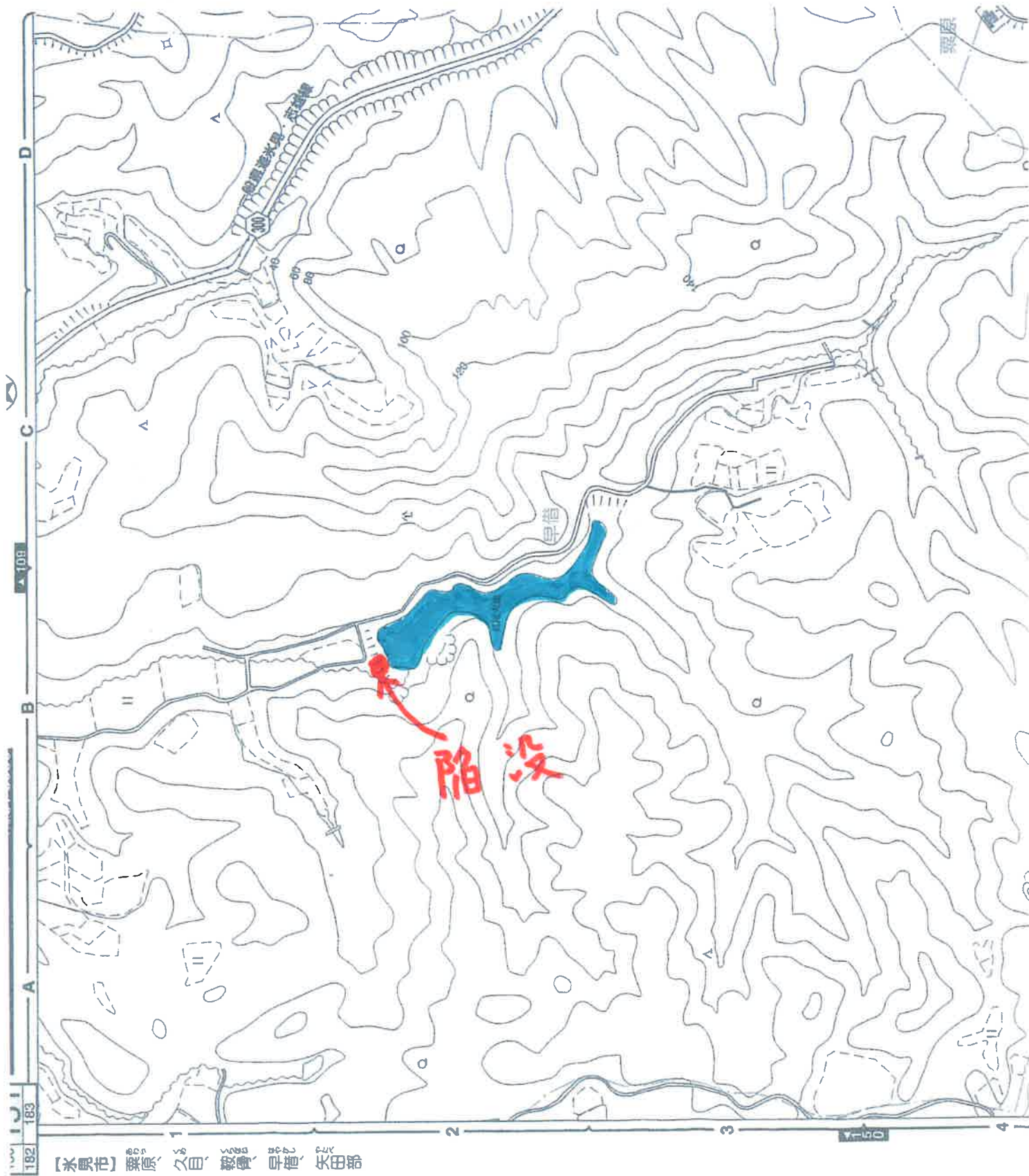
氷見市長

林 正之 殿

早借自治振興委員会

区長 待寺三郎





【氷見市】 栗原、久目、新島、早瀬、安田部



3月6日7時

